



2024年1月31日

各位

会社名 株式会社カラダノート  
代表者名 代表取締役 佐藤 竜也  
(コード番号：4014 東証グロース)  
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 長岡 秀周  
(TEL 03-4431-3770)

### よくある質問と回答 (2024年1月)

日頃より、当社へのご関心を賜りありがとうございます。当社 IR 活動に関連して、投資家様からお電話やメール等で個別にお問い合わせをいただくことがございます。基本にご質問に対しては、可能な限り速やかに個別にご回答させていただいておりますが、投資家様への情報発信の強化及びフェアディスクロージャーの観点から、頂戴した主要なご質問とその回答について、下記の通り公表させていただいております。

本公表は、毎月月末を目途に継続的に公開しております。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容をその時点における最新の当社方針として公表させていただきます。

Q1. 2024年7月期1Qにおいて、大手企業とのPoC案件の受注が計画を上回ったとありましたが、前期(2023年7月期)と比較して、顧客層に変化があったか教えてください。

大手企業とのPoC案件は、当社の保有するDBや知見を評価いただき、社会課題の解決に繋がる共同事業化を目指しているという点で、変化ありません。前期においては、複数の大手の生命保険会社様と取り組みを実施してきましたが、今期、足元では大手の製薬企業様、商社様との取り組みが伸長してきており、顧客層は変化しております。社会課題解決に向けて、一層の追い風を感じております。

Q2. 今後のARPUの見込について教えてください。

ARPUはストックビジネスの金融関連(保険代理事業)と生活必需品関連(宅配水事業)で構成しております。2024年7月期1QのARPUは6千円台で、計画通り下げ留まりつつあります。現在、非ストックの収益性の高い住関連に、生活必需品関連のリソースをシフトしており、ストックビジネスのARPUには現れないものの、全社の収益率は高まっていくと見込んでおります。今後、住関連のKPIについても、適切な示し方を検討してまいります。

Q3. 広告宣伝費が2024年7月期1Qで減少した要因と今後の見通しを教えてください。

広告宣伝費が減少した要因は、適切に費用を投じるべく、費用対効果をより厳しく精査した結果となっております。今後、中長期では減少傾向を見込んでいるものの、直近四半期単位で常に減少させていくことは考えておりません。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社カラダノート

IR担当

ir@karadanote.jp

Q4. 2024年7月期における人員計画の進捗について教えてください。

今期は、注力領域である金融関連(保険代理事業)、住関連領域の収益性の高い領域での人員増員と獲得効率改善のためのインサイドセールス内製化を計画しております。注力領域の人員増員は、社内リソースの配置最適化を行い、特に住関連領域においてハウスメーカーとユーザーとの面談件数の増加の成果が出ております。インサイドセールス内製化における採用活動は、計画通り進捗し、獲得効率が改善してきております。更に人員増員を行うべく、採用活動を強化しております。

■問い合わせ先

株式会社カラダノート

IR担当メールアドレス：ir@karadanote.jp

■IRウェブサイト：<https://corp.karadanote.jp/ir>

最新の決算短信や決算説明資料などの決算情報、情報や株主総会関連資料のほか、個人投資家様向けのページなどをご用意しております。

■サステナビリティページ：<https://corp.karadanote.jp/sustainability>

当社のマテリアリティマップや、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みをご紹介します。

■IRメールマガジン登録：

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSccFipEzHZ014nd712jzRksnMumr-RbscesZZTGGzZ3WdCwYQ/viewform>

適時開示や当社からのニュースを随時ご案内いたします。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社カラダノート

IR担当

ir@karadanote.jp